

20 阿蘇の火山体験学習

- 実施主体 (公財) 阿蘇火山博物館
- 実施場所 阿蘇山上一帯
(草千里ヶ浜、烏帽子岳、杵島岳、杵島岳中腹～古坊中)
- 実施期間 平成 27 年 4 月～11 月



◇背景・ねらい

火山の活動そのものや、その活動が環境に与える影響など、さまざまな面から阿蘇を捉えようとする動きが始まっている。その一環として、草原の成り立ちや食物連鎖、物質循環、水環境との関連などの面からも草原について学習することは重要である。

このような状況の下、阿蘇を訪れる修学旅行生や地元の子どもたちに対して、阿蘇のフィールドを散策しながら、火山、草原、文化などについて解説を加え、学習効果を高めるような事業を実施した。

◆実施概要

- ・阿蘇を訪れる修学旅行生や地元の小・中・高校生などを対象に、博物館見学とともに周辺のフィールドワークを実施した。案内は、博物館学芸員や阿蘇インタープリター（特定非営利活動法人阿蘇ミュージアム所属）が担当し、子どもたちにわかりやすく解説を行った。
- ・エコツアーを希望する一般の観光客に対しても同様のプログラムを実施した。
- ・地元の小学校からの希望に応じて、学芸員がバスに乗りこみ、学校から阿蘇山上まで地形や草原景観等について解説も行った。



7月2日 大阪教育大学付属池田小学校



10月14日 熊本私立帯山中学校

◆実施体制

- ・阿蘇火山博物館学芸員 2 名、学芸員補 2 名、学術顧問 2 名、阿蘇インタープリター 40 名。

◆成 果

- ・自然体験活動 1,376 人 (対前年比△2,078)
- ・ミュージアムツアー 9,332 人 (" +1,826)
- 計 10,708 人
- ※うち阿蘇郡市内の小中学生は、8校 211人。

◆実施者の感想

- ・今年度は、9月14日に中岳の小規模噴火が発生し、噴火警戒レベルが3に引き上げられたため、フィールドワークをミュージアムツアーに変更することも多かったが、博物館内の展示や実験を使って、阿蘇火山の生い立ちや草原のなりたちについて解説した。